

ハイスタッフホール(観音寺市民会館)開館記念事業のご案内

公演スケジュール

公演日	タイトル
8月6日(日)	文化庁優秀映画鑑賞推進事業「黒澤明特集」
19日(土)	綴帳お披露目&加藤登紀子コンサート ※7月31日で申し込みは締め切りしました
9月3日(日)	清塚信也ピアノコンサート
21日(木)	谷村新司コンサート
10月4日(水)	劇団四季ミュージカル「アンデルセン」
9日(祝・月)	大黒摩季 全国ライブツアー
25日(水)	鼓童「打男 DADAN 2017」日本ツアー

好評発売中 文化庁優秀映画鑑賞推進事業 「黒澤明特集」

文化庁に保管されているフィルムで上映
“世界のクロサワ” 映画に浸る1日

日時 8月6日(日)
場所 小ホール
料金 1作品ごと500円
(全席自由)
※入替制



酔いどれ天使 午前10時～



羅生門 午後0時30分～



用心棒 午後2時45分～

鼓童「打男 DADAN 2017」日本ツアー

日時 10月25日(水) 午後6時30分開演
場所 大ホール
料金 5,500円(全席指定)※未就学児入場不可
一般販売
日時 7月29日(土) 午前10時～
販売場所 ハイスタッフホール事務局
販売方法 先着順(予定枚数に達した場合販売終了)
枚数制限 1人につき4枚まで

問い合わせ先 ハイスタッフホール ☎23-3939

正しい認識で明るい社会を

「世間体」に左右されずに！

心がつながる社会をめざして

人権とは、誰もが生まれながらにしてもっている、人間が人間らしく生きていくための誰からも侵されることのない権利です。さて「人間」にはどのような意味があるのでしょうか。辞書で調べてみると「じんかん」「にんげん」と読み、その意味として①人②世間・人の社会とあります。このことから、「間」は「世間」を表していることが分かります。皆さんは「世間体」に左右されたことはありませんか。もしも、周囲の人間関係において、周りの人と同じでありたいという思いから、周りの人の行動や考えに合わせ、たまたま科学的根拠のない慣習や迷信であっても、疑いもせずのみにしてしまっている、合そうとして、より周りを気にするからかもしれません。このように、私たちがいろいろなことを考え判断する上で、周りを気にするあまり「世間体」に左右されることがあり、それが思い

※多くの人がご覧いただくためにふりがなを振っています。

おめでとう
ございます

平成28年度
人権作品優秀賞



伊吹小学校4年生
松本 菜々花さん

大野原中学校3年
合田 奈未さん

大野原中学校3年
(平成28年度)
合田 奈未さん

はじめまして ふるさと学芸館です



▲水冷蔵庫

暑い毎日が続いています。このような時は冷たいものが欲しくなり、つつい冷蔵庫を開ける回数も増えてきます。今は、ほぼ各家庭の台所に電気冷蔵庫がありますが、昭和35年ごろまでは、ほとんどの家には電気冷蔵庫はありませんでした。その代わりに、夏の暑い間だけ活躍していたのが「水冷蔵庫」です。上の段の氷室に大きな氷を入れ、下の方に流れていく冷気を利用し、下の段の冷蔵室に入れた食品を冷やしていました。氷は氷屋さんから買い、生鮮品や飲み物を冷やすための貴重品であったということです。

日本で初めて電気冷蔵庫が発売されたのは、昭和5年です。価格は720円で、当時は庭付き一戸建ての家が買えるほどの大変ぜいたくなものでした。一般の家庭に広まっていったのは、昭和30年代です。冷蔵庫がなかったころは、毎日買い物に行くのが当たり前でしたが、冷蔵庫が登場してからは、食品のまとめ買いができるようになりました。日々の生活を変えてしまうほど便利な道具だったので、今ではどこの家庭でも持っている家電の一つになりました。

当時、冷蔵庫・洗濯機・白黒テレビは「三種の神器」といわれ、人々の憧れでした。冷蔵庫のないところでは、井戸の中につるしたり、井戸水をたらいにたっぶり注ぎ、そこに食べ物を入れたりして冷やしていました。今では水道水に慣れてしまいましたが、暑い夏、井戸水の冷たい感触はとて心地よいものでした。 問い合わせ先 ふるさと学芸館 ☎080-2974-4531

男女共同参画

男性の育児休業取得推進に向けて

企画課男女共同参画推進室 ☎23-3917

男性の育児休業取得率は、長期的には上昇傾向にあるものの、現状では3・16%（厚生労働省「平成28年度雇用均等基本調査」速報）にとどまっており、育児休業を利用する男性は依然として少ないままです。しかし実際には、3歳未満の子どもを持つ20～40歳の男性正社員のうち「制度が整備されていないから」「取得しづらい職場の雰囲気だった」など、育児休業を利用したかったが利用できなかった人の割合は3割にもなっており、育児休業取得率と大きな隔たりが生じています。（三菱UFJリサーチ&コンサルティング「平成27年度仕事と家庭の両立支援に関する実態把握のための調査」）

男性の育児休業取得率は、長期的には上昇傾向にあるものの、現状では3・16%（厚生労働省「平成28年度雇用均等基本調査」速報）にとどまっており、育児休業を利用する男性は依然として少ないままです。しかし実際には、3歳未満の子どもを持つ20～40歳の男性正社員のうち「制度が整備されていないから」「取得しづらい職場の雰囲気だった」など、育児休業を利用したかったが利用できなかった人の割合は3割にもなっており、育児休業取得率と大きな隔たりが生じています。（三菱UFJリサーチ&コンサルティング「平成27年度仕事と家庭の両立支援に関する実態把握のための調査」）

みなさんが幸せに暮らせる社会を目指し、官民一体となり、男性の育児休業取得推進に向けて取り組みを進めていきたいと思います。

6/29 手と全身を使い気持ちを踊りに託します

毎週木曜日、共同福祉施設で市民講座「楽しいハワイアンフラ」が行われています。15人の講座生は、8月の芸能発表会に向けて「南国の夜」を練習中。初心者ですが、講座が終了するまでには十分楽しんで踊れるようになるそうです。手の動きで花や風を表現しながら足のステップを組み合わせて、流れるような動作の踊り手たちは、笑顔で溢れていました。



市民講座作品展および芸能発表会の詳細は17ページに掲載しています。

6/30 毎週楽しみに親子で参加しています

「楽しく英語を学ぶきっかけを作りたい」「本の大切さを学んでほしい」との思いが込められたシモンズ・ブライアン先生の「英語をたのしもう!」が毎週金曜日に中央図書館で開かれていて、人気を集めています。子どもたちは、絵本やカードを使って先生の話す言葉を復唱したり、体を動かしながら歌を歌ったり、自然に楽しい英語の世界に引き込まれていました。



どなたでも参加できます。毎週金曜日午後2時30分に中央図書館に来てください。

7/7 七夕に自分で浴衣を着たよ

豊浜中学校の1年生(男女49人)が、家庭科の授業で浴衣の着付けを体験しました。これは、NPO法人和装教育国民推進会議香川県支部が、日本の伝統文化を次の世代へ継承するため、中学校での和装教育支援を行っているもの。生徒たちは用意された色とりどりの浴衣に袖を通し、丈の長さの調節や帯のしめ方の指導を受け、慣れない手つきで着付けに挑戦していました。



6/30 ワインとともに市の魅力もPR!

平成29年3月25日に長野県塩尻市にて開催された「2017ミス・ワイン日本大会」において準グランプリに輝いた、観音寺市(杵田町)出身の柴原史佳さんが白川市長を表敬訪問しました。女優、舞踊家でもある柴原さんに白川市長は「ぜひ、市民ミュージカルにも参加をしてもらいもっと観音寺をPRしていただきたい。ますますの活躍を応援しています」と激励しました。



7/1 観音寺の知名度向上を目指して!

市が本年度から観音寺市ふるさと応援特別大使を委嘱している、エジプト考古学者 吉村作治さんの委嘱状交付式がありました。吉村さんは、観音寺子どもの夢事業の一環として、市内の小、中学生に夢と希望を与える講演などで何度も本市を訪問して「伊吹島や銭形砂絵など面白いパワースポットがあり、市の魅力を広く全国で紹介していきたい」と抱負を述べました。



6/26 7/10 魅力ある観光地を目指して

本市の観光振興を図るため、本年度に観音寺市観光基本計画を策定します。同計画の素案作りを担当する作業部会があり、20~40歳代の市民や観光産業関係者が、観光資源や観光地の課題を話し合いました。また、観光アドバイザー井上弘司さんが関わった、都市農村交流を通じた地域活性化の成功例の説明を受け、部員たちは本市に当てはめた素案作りを始めました。



井上弘司さんは、観光庁が各地で観光振興の核となる人材を育てるために選定した、観光カリスマ100選の1人として活躍しています。

がんおんじタウン情報

6/14 親子の食育教室「お魚をさばいてみよう」

高室小学校5年生の親子19組が三豊郡漁業組合連合会と市食生活改善推進協議会の協力で魚を使った調理実習を行いました。これは市のヘルスプランの活動の一つで、児童たちは慣れない手つきながらも保護者の手助けを受けアジをさばき、ムニエルなど4品を作りました。「命の大切さがよく理解できた」と児童の感想もあり、親子で食事の大切さを学習しました。



ヘルスプランの(健康・食生活・食育グループ)は、食材に興味を持ち楽しく食べる経験や食事の大切さを伝える活動を行っています。

6/18 地域を挙げて祭りを盛り上げました

ピンクや水色など鮮やかな色のアジサイ約3千株が見ごろを迎えた粟井神社で、恒例の粟井あじさい祭りが行われました。境内では、アジサイの花を愛でたり写真を撮ったり大勢の人が市内外から訪れていました。また、大正琴の演奏をはじめ地元保育園児の元気な遊戯や小学生の鼓笛パレード、有志がリズムよく踊る粟井音頭などが、にぎやかに祭りを盛り上げていました。



6/20 初めての裁縫 優しく教えてくれたよ

常磐小学校5年生が家庭科の授業で、玉結びや玉どめを初めて学習するにあたり、イエロー隊の皆さんから手縫い指導を受けました。普段は黄色いベストを着たイエロー隊として、子どもたちの登下校を見守る活動していますが、手縫いのほかミシンの授業の補助もしているそうです。子どもたちは、糸の通し方や玉結びのこつを教えてもらっていました。



6/23 観音寺の自産の産品を全国へ発信!

観音寺の豊かな地域資源から生み出された農林水産物や加工品を市独自のブランドとして認証する「観音寺ブランド」の認証産品9品が決定しました。伊吹いりこやセルリーのほか、海の幸を使った味噌や酒、アイスクリームなど観音寺の魅力溢れる産品が並びました。白川市長は「自慢できるたくさん産品を、全国に売り込んで、市の活性化につなげたい」と述べました。



認証産品について、詳しくは市ホームページをご覧ください。

6/28 親子の絆を深めるタッチケア

愛育会主催、乾先生の「タッチケア&わらべうた」がほっとはうす萩でありました。タッチケアは、赤ちゃんに語りかけながら体に触れたり、わらべうたを歌ったりしながら、マッサージをすることで、心身の安定につながるといわれています。赤ちゃんとのふれあいを通してゆったりと穏やかな時間を過ごしなが、参加者同士の交流も深めていました。

